

事を成すには矢張り 10 年かかる

新春仕事始めの日に、長年私が経営において陰に陽に支援して来ました K 社の Y 社長と幹部 2 名の人が年賀の挨拶にみえました。

Y 社長とは、私が 2007（平成 19）年 5 月に千代田区内の秋葉原・神田地域の発展と拡充を目的とした秋葉原・神田地域ポータルサイト（www.aki-kan.jp 現在休止中）を開設しました折に、“アキバ文化”の発信の担い手として、知人から“アキバに強い人”と紹介されジョイントベンチャーをスタートさせてからのお付き合いです。

K 社は 2005（平成 17）年 6 月には HP の制作会社としてスタートしました。その後、イベント企画事業・運営委託会社として変遷して来ました。毎年定期的に 3 名が連れ立って活動の報告に来社し、私はその時々適確な助言をしてみいました。

かつて Y 社長と初めて面談した折に“自分の一番親しい（ちかしい）場所が秋葉原なのでここを事業基盤として事業展開をしていきたいとのお話しで、大いに期待して応援しますと伝えたことが記憶に残ります。

今回挨拶を兼ねての報告は、こん日までひたむきに 3 名が夫々の能力や得意技を活かし、多方面に亘るそれぞれの努力が、ようやく実を結び、数々の成果をもたらし、それを資料をもとに説明を受けました。私にとりましては想像以上の成果で、大変喜ばしくこん日を迎えた彼等の奮闘に、目頭が熱くなりました。

それぞれの面持ちから、ともかく多少とも展望が開けて彼等がやって来た努力が確かなものと自信に溢れた姿に感動いたしました。私が Y 社長に「大変立派なことですが、何年かかりました？」との問いに「創業から大よそ 10 年です」とのことでした。

昔からなにごとことも事を成すには、やはり 10 年はかかるとの声は多方面の方から耳にして来ました。起業して数年間は紆余曲折を克服しつつ収益に結びつくビジネスに結びつかず、まともな給料もとれず、先行き危ぶまれたことも知っておりました。

若いときの起業は自分もそうでしたが、資金も人脈も良き指導者もない場合が多く、ただ自身の若さと熱情だけで全人生、全人格、全情熱を賭けての闘いです。促成野菜のように種を蒔いていてすぐ収穫など望むことすら叶わない行為です。今では葉を繁らせる立派な樹木も、1 年また 1 年と歳月の積み重ねの後に丈夫な幹を形成します。新春にふさわしい来客で私の心も明るくなる話しでしたが、私の経験からして冷静になれば「これも一里塚」です。

得てして上手くいっている時こそ全ての点で神経を使っていく必要があります。私の立場として、しっかり今後の彼等の行先を見守っていく必要があると思いました。